

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和2年度加東市配偶者等暴力対策基本計画策定委員会（第1回）
開催日時	令和2年8月18日(火) 午後1時30分から午後3時10分まで
開催場所	加東市役所 3階 302号会議室
議長の氏名（委員長 海野千畝子） 出席及び欠席委員の氏名 【出席委員】10人 ・海野千畝子 ・岩崎吉泰 ・神崎壽福 ・安達 満 ・茂木美知子 ・花本和美（代理） ・藤原哲史 ・藤原文子 ・藤井公子 ・石田れい子 【欠席委員】 無	
説明のため出席した者の職氏名	無
【出席した事務局職員の氏名及びその職名】 ・健康福祉部長 大西 祥隆 ・健康福祉部福祉総務課長 近澤 孝則 ・健康福祉部福祉総務課副課長 松本弓子 【議題、会議結果、会議の経過及び資料名】 1 <議題及び会議の結果> (1) 策定委員会の運営について 異議なし (2) 第2次加東市配偶者等暴力(DV)対策基本計画に基づき実施した令和元年度のDV対策事業の内容について、評価、分析 異議なし 2 <会議の経過> 別紙「令和2年度 加東市配偶者等暴力対策基本計画策定委員会（第1回） 会議経過」のとおり 3 <会議資料> 策定委員会の運営について 資料No.1 資料No.2 第2次加東市配偶者等暴力(DV)対策基本計画 評価表 資料No.3 第2次加東市配偶者等暴力(DV)対策基本計画進捗管理表 資料No.4	

(別紙) 令和2年度加東市配偶者等暴力対策基本計画策定委員会・会議経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
	1 開会挨拶（健康福祉部長） 2 委員・事務局自己紹介 3 委員長・副委員長の選任 4 委員長あいさつ 5 議 事 〔議事録署名人の指名〕 ・NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネットこうべ茂木美知子委員 ・加東市教育委員の藤原哲史委員 〔議事内容〕 委員長 議題の1「策定委員会の運営」について、事務局から説明をお願いします。 事務局 （事務局より、資料No1、2に基づいて説明） 委員長 議題の1「策定委員会の運営」について何かご意見、ご質問はございますか。 （質疑なし） 委員長 それでは原案のとおり決定させていただきます。 つづいて議題の2「第2次加東市配偶者等暴力（DV）対策基本計画に基づき実施した令和元年度のDV対策事業の内容について、評価、分析」について、事務局から説明をお願いします。 事務局 （事務局より、資料No3、4に基づいて「基本課題Ⅰ 相談体制の充実」について説明） 委員長 「基本課題Ⅰ 相談体制の充実」について何かご意見、ご質問はございますか。 委 員 資料No4の相談窓口体制の充実の「加東市配偶者暴力相談支援センターの周知と充実」にある目標値の5回の数値目標設定の根拠を教えてください。 事務局 令和元年度の啓発活動実績は1回ですが、民生委員の協力を得ながら3か所の商業施設で街頭活動を実施しています。また、今後の取り組みとしては、男女共同参画関係の講演会などで啓発リーフレットを配布するなどの取り組みも増やすことを目標に5回としています。 委 員 取組評価の成果は、数値目標のあるところは、「A」「B」「C」と評価しやすいが、数値のないところの評価はどう評価しているのでしょうか。

事務局	数値目標のところは各課でＡＢＣの評価をしていただいています。数値目標がない取組については、ＡＢＣで評価せず、取組内容、成果の欄の内容により評価しています。
委員	パープルリボンキャンペーンの運動は賛成だが、市民でも知らない方もいる。市民への周知を充実させてほしい。
事務局	街頭キャンペーンのほか、啓発のぼりの設置や市役所ロビーでの啓発物品を配布しているが、実施内容については工夫し、市民への周知に引き続き取り組みます。
委員	民生委員と連携して、街頭活動を実施しています。市民の皆様も知らないことも多いとは思いますが、すぐに結果がでるというものではないことから、継続して実施していくことが大切だと考えています。
委員長	一次評価は「Ｂ」であるが、それで良いですか。
	(異議なし)
委員長	委員会の評価も「Ｂ」とします。
事務局	(事務局より、資料No.3、4に基づいて「基本課題Ⅱ 被害者の安全確保」について説明)
委員長	「基本課題Ⅱ 被害者の安全確保」について何かご意見、ご質問はございますか。
	(質疑なし)
委員長	一次評価は「Ａ」であるが、それで良いですか。
	(異議なし)
	委員会の評価も「Ａ」とします。
事務局	(事務局より、資料No.3、4に基づいて「基本課題Ⅲ 被害者の自立支援と生活再建の支援」について説明)
委員長	「基本課題Ⅲ 被害者の自立支援と生活再建の支援」について何かご意見、ご質問はございますか。
委員	相談対応にあたっている相談員は何名ですか。
事務局	相談員は１名です。
委員	DVの相談件数は？

事務局	令和元年度の相談延べ件数は127件あり、実人数としては34人です。
委員	その件数については、すべてのケースについてDVは、落ち着いているという理解でよろしいでしょうか。
事務局	DV相談は単年度で相談が終了するケースばかりではありません。継続し、相談しているケースもあります。
委員	DVの相談員と関係機関が連携して対応していくことが大切です。相談員の負担増のことも考えて、今後人員を増やすことも考える必要があると思います。
委員	「スクールカウンセラーによる心のケアの実施」の取組内容に数値記載されているが、これは相談全体の数値であり、DVケースだけではないと思います。DVが関係する件数のみを把握し、それを数値目標、成果としたほうがよいのではないのでしょうか。 次に、資料は遡りますが、「加東市配偶者暴力相談支援センターの周知と充実」の数値目標をDVの相談件数にしたほうが良いのではないかと思います。「配偶者暴力相談支援センター」がないときは「女性のための相談」にもDV相談はありましたが、「配偶者暴力相談支援センター」が設置されてから、センターがほぼDV相談対応されています。相談員が常駐しているのは大きいと思います。 また、来年度の実績評価に向けて、様々な取組をされていますが、コロナの影響の把握をしておく必要があると思います。
委員長	一次評価は「A」であるが、それで良いですか。 (異議なし)
委員長	委員会の評価も「A」とします。
事務局	(事務局より、資料No.3、4に基づいて「基本課題Ⅳ DVを許さない意識づくりの推進」について説明)
委員長	「基本課題Ⅳ DVを許さない意識づくりの推進」について何かご意見、ご質問はございますか。
委員	意識づくりの箇所、DVがおこりやすい状況などを、市民により伝わるような取り組みが必要ではないかと思えます。
事務局	被害者自身がDVとは気づいていない場合もあり、どのような行為がDVなのかということも市民の方に知ってもらう必要があると考えています。市のHPでDVとはどういったものかということがわかるようにしています。

委 員	アンガーマネジメントだとか衝動コントロールを取り入れて、被害者教育・加害者教育をドッキングさせていくような心理教育ができれば良いかなとは思いますが、技術が必要になってきますので、すぐには無理かとは思いますが。しかし、そういった取組ができれば良いかなと思います。
委員長	一次評価は「B」であるが、それで良いですか。 (異議なし)
委員長	委員会の評価も「B」とします。
事務局	(事務局より、資料No3、4に基づいて「基本課題Ⅴ 支援体制の充実」について説明)
委員長	「基本課題Ⅴ 支援体制の充実」について何かご意見、ご質問はございますか。
委 員	相談対応されている職員を対象とした研修はありますが、全職員を対象にしたDV研修を実施されている官公庁は少ないです。全職員に対してのDV対応の意識づけができるため、継続して実施していただけたらと思います。
委 員	中学生を対象にした「デートDV授業」は、未然にDVを防ぐという意味がある授業だと思いますし、適切な時期にデートDV授業のような教育を受けることは本当に必要なことだと思います。
委員長	一次評価は「B」であるが、それで良いですか。 (異議なし)
委員長	委員会の評価も「B」とします。
委員長	全体を通して、何かご質問、ご意見はありませんか。
委 員	DVチェックリストは、こういったものによってDVを自身で自覚できることから、良いと思います。 評価基準をABCと三段階にしていることで、Bはすごく範囲が広いように思います。目標値の基準もわかりにくいのではないのでしょうか。
委 員	全職員に対しての研修が新鮮だと感じました。多岐にわたった連携がDV支援には必要であることから、そういった取組は良いと感じました。
委 員	核家族が進む中で、心理教育的なことを家庭でしないまま子どもたちが成長していくような世の中です。小学生、中学生に対しての教育は必要だと思いますし、若い母親、父親に対しても学びの機会は必要だと感じます。
委員長	他に意見が内容であれば議事を終了します。

事務局	6 その他 7 閉会あいさつ
-----	-------------------

令和2年9月14日

委員長 海野千歆子

署名人 藤原 哲史

署名人 茂木 美知子